令和３年度新見市地方独立行政法人評価委員会（第１回）議事要旨

日　時　令和３年７月９日（金）９：３０～１２：００
場　所　新見公立大学　本館２階　会議室Ａ
出席者
　評価委員会　岡﨑委員長、田中委員、中西委員
　公 立 大 学　公文学長、小田副学長、田枝事務局長、斎藤学生部長、
　　矢嶋学生部次長、石橋事務局次長、吉田課長、眞治主査、藤原主事
　事　務　局　古家参与、泉参事、羽場主任

■要旨
「令和２年度事業報告書」、「令和２年度に係る業務の実績に関する項目別実績報告書」、「令和２年度財務諸表」、「令和２年度決算報告書」の各資料に基づき、公立大学から説明を受けた。
今回の評価委員会では、令和２年度事業実績についての大学からの説明にとどめ、次回評価委員会（７月１４日（水）９：３０から、市役所本庁舎３階第４委員会室）にて評価を審議することとした。

■詳細
Ⅰ　教育研究等の質の向上に関する目標を達成するために取るべき措置
１　教育
１）教育の内容
委員：「大人の思考法」とはどういうことを指すのか。
大学：地域の問題を解決するためには、縦割りではなく広い視野を持つことが必要だ。このことから、将来多職種の人が集まり問題を解決していくということが地域共生のための学びであるという発想がある。それぞれの立場からの意見を言うことが出来るということを「大人の思考法」と表現している。

委員：防災士は全学で受けているのか。また、その趣旨はなにか。
大学：地域との連携や避難者への対応のため、基礎的な知識を身につけておくことが必要だと考えているため。また、各学科卒業生は、将来公共的な業務をすることになる。このため全学で受けることとしている。
委員：防災士は令和２年度から積極的に行うようになったのか。
大学：２学年から受講することとしているため、４年制大学となり２年目を迎えた令和２年度からとなる。なお、防災士資格取得のためには費用が必要なため、受験しない学生がいる。

委員：防災士の合格率が７２．３％なのはなぜか。
大学：受験資格はあるが、受験していない学生がいるからだ。

委員：読書調査から見えてきたものは、特徴的なものはあるか。
大学：読書により、人間としての力をつけることを目的としている。
学生が読みやすい本とするために、学生による選書や、教員からの推薦を行っている。

委員：図書館職員は臨時職員のみだったが、これは解消しているのか。正規職員を雇ったか。
大学：臨時職員だけのままだ。

委員：コロナウイルス感染症の影響で、学生が模試を受ける機会は減っているのか。
大学：ＷＥＢでの開催が増えてきている。

委員：一人のチューターが何人の学生を受け持つのか。
大学：各学年４～５名を受け持つ。
委員：学年が変わればチューターは変わるのか。
大学：１、２年生の間は同じだ。３年生からはゼミがあるため、そこが学生を受け持つこととなる。
委員：同じチューターに受け持たれる学生は、一生涯の友人となることができる可能性はあるか。
大学：学生の氏名により割り振っている。このため、実習でも同じ組になる可能性がある。そのような間柄になりやすいかもしれない。

委員：キーボードスキルが低い学生が多いか。
大学：苦手な学生もいるが、個別に対応している。
学生の連絡手段はメールではなくＬｉｎｅが主となっている。しかし、就職先での連絡手段はメールが主だ。また最近はＷｅｂ会議システムの利用もある。今後はＩＴ教育も一つの教育テーマとなると考えている。

委員：オンライン授業と対面授業について、その使い分けの基準はなにか。
大学：コロナ対策が基準だ。本学は学生の健康管理等を行っており、特定多数の状況を作っている。その中で、許容できるものは対面授業を行い、できないものはオンライン授業としている。その都度どちらで行うかを決定している。
本学はコロナ禍以前からＷｅｂ会議システムの導入等を進めてきていたため、全国的にもいち早くオンライン授業等に対応することができた。
委員：コロナ禍においても１科目を除き、全てを年度内に実施できたもとは驚きだ。大いにアピールできることだ。

２）教育の実施体制
委員：「新見市保育・教育カリキュラム」は現場と共に検討を行い作成したものか。
大学：そうだ。それぞれの立場にそれぞれの想いがあり、作成には苦労したと思う。しかし、大学を使い、カリキュラムを上手に作ることができた。

委員：学生のオンデマンド授業へ出席は少ないか。
大学：出席数の把握ができるようにしているが、出席していてもその講義すべてを見ているかは分からない。時間を問わず受講できる点や複数回受講できる点はオンデマンド授業のメリットだ。しかし、いつでも受講できることで生活リズムが崩れることはデメリットだ。良い点悪い点を評価し運用してくことができるよう気を付けたいと考えている。

委員：外部人材を登用しているが、客員教授や非常勤講師の他に登用していることはあるか。
大学：鳴滝塾の際に学部人材を登用している。

２）研究の内容
委員：高尾地区での認知症捜索訓練が中止となったのはコロナウイルス感染症のためか。
大学：そうだ。

３　学生の確保及び支援
１）学生の確保
委員：ここ１０年くらいで大学の偏差値は上がっているか。分析は行っているか。
大学：毎年専門家に分析してもらっている。
偏差値は、大学で学びたい内容のほかに、受験生が受験校を判断する要素となる。偏差値が高いと受験生が減るため、ほどほどの値が理想だ。
偏差値よりも魅力的な教育を行っていることを発信したい。
短期大学から大学へ変わったことで、近年は進学校からの受験生が増えている。

委員：精神的に不安定な学生はいるか。
大学：各学年に数人いるが、精神科医やカウンセラーを配置し対応している。またチューター制でもケアできるよう努力している。コロナ禍により様々な事柄に制限がかかっており、学生のストレスも増えている。学生へのケアが大切だと考えている。

委員：コロナが原因の退学者はいるか。
大学：退学者はいない。しかし、休学者の中に、コロナ＋αの理由により休学している学生がいる。
本学は他大学に比べ、対面授業ができていることや友達作りができており、普通の学生生活を送ることができている。
委員：入学式を行うことができており、コロナに対し工夫をされていると感じる。

Ⅱ　社会貢献に関する目標を達成するために取るべき措置
委員：サテライトキャンパスについては西エリアの話がでると思うが。
大学：今後、市の方から方針が発表されると思う。

Ⅲ　地域に開かれた大学づくりに関する目標を達成するためにとるべき措置

大学：コロナ禍のため、現在は地域に係わることができていない。しかし、今後ワクチン接種が進むことにより、後期からは自由な交流ができるのではないかと考えている。

委員：市民の地域共生交流センター棟の利用はあるか。

大学：当初はかなりの利用があったが、コロナ禍のため現在は少ない。以前はにこたん利用後に地域共生推進センターが利用でき好評だった。

Ⅳ　業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

委員：組織の再編により責任の所在の明確化や及び意思決定の迅速が、役割分担等の見直しにより、より図れる方向になったという認識でよいか。

大学：担当を決めることが難しい業務が増えてきた。これに対応するため、課を分割したり主担当と複数の副担当でチームを作ることができる制度を作ったりした。これにより意思決定の早さや、責任の所在を明確にできるようにした。
また、臨時職員を専門職と考えている。専門職の知識の取入れのために、職員の位置づけや意思決定への参画の仕方の整備をしようとしている。

委員：大学の４年制化は完了したが、スタッフの充実は今後もまだ図っていくのか。

大学：４年制はまだ始まったばかりであり、また本学の職員数は他大学と比べて少ない。学生対応ができる職員が必要で、どの様に充実させるかを今検討している。人数としては、中長期的に充実させていきたい。

Ⅴ　財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

委員：寄付の受け入れ口はどこか。

大学：寄付による税額控除のことがあるため、大学を受け入れ口としている。

委員：寄付があることにより、学生は助かっているか。

大学：助かっている。公ではできない部分に対し支援をいただいている。例えばＪＡから食材支援をいただいており、学生は地域に育ててもらっていると感じている。

Ⅶ　その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置

委員：学生へのＷｉ－Ｆｉルーターの貸与は他大学でもあることか。特別な事か。

大学：特別なことだ。全国的に見ても例がない。本学の地域性を考えると、一律の教育環境を整える必要があると考えている。

財務諸表

貸借対照表

委員：流動資産の未収入金の内訳はなにか。

大学：全て補助金である。

委員：流動負債の未払金の内訳はなにか。

大学：３号館改修費用の７千万円が未払いとなっており、大部分は工事代金である。

財務諸表

損益計算書

委員：借り入れが１０億円あることに対し支払利息２６０，６０６円とある。少ないと感じるがこれはどういうことか。

大学：令和２年度に償還した約８３００万円に対する利息のため、この金額となっている。なお、利率は１０年国債による。